

# 広報あか池

# 6

■発行/赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 ■編集/総務課文書広報係

★町の人口★ 人口10,192( 16) 男4,818( 7) 女5,374( 9) 世帯合計3,407(12) 62年4月末日現在 内は前月との比較です

## 総務常任委員会

委員長 山下次男



緑と清流・陶器の町赤池。活気ある町づくりをめざし、子供や若者、老人が安心して暮らせる町、住民が主人公の町政をめざします

副委員長 日高進



○財政再建に努力いたします  
○行革審を尊重した、議員活動を行います  
○企業誘致の推進をはかり、明るい豊かな町づくりに務めます

委員 池田兼善



温くもりに満ちた郷土赤池のまちづくりを—。私の政治に対する考え方は人間すべて平等対等という事から発しています。恵れない人々や不幸な人々がどこに行ってもその意見が聞いてもらえない時、私はその最後の聞き手になりたい。

委員 竹沢和雄



赤池町の発展を願って、安定した企業の育成と、企業誘致に努力し、産炭地跡地の鉱害復旧と併せて地域の環境整備により一層の情熱をもって当りなお赤池町民の健康と友好の和を願って体育の向上にも寄与することを私の抱負とします。

委員 小松利道



町にビッグな活力を一。私は衆知を結集して郷土赤池町の浮揚発展に務めます。選挙後の住民の関心には選ばれた者がどんな仕事をしようとするのかという点だと思います。従って議会人として自分のめざす町政を大いに論議して町の発展を目指していきます。

委員 木月繁美



①暴力のない明るい住み良い町づくり②生活環境の形成③暴力追放宣言都市して社会環境の浄化の推進④老人の生きがい対策の充実と老人憩の家、シルバー人材センターの建設⑤住民と行政との英知を結集し計画的な行財政運営による財政再建に努力します

## 厚生常任委員会

委員長 小松保



今回は無投票で議員となり、その上厚生委員長の大役を受け身のひきしまる思いです。数多くの皆様方と、対話に対話を重ね町の発展のため、又町住民が主役である行政を推進してまいります。今後も皆様方の御指導をお願いします。簡単ですが私の決意とします。

副委員長 大島勇夫



初心を忘れず驕り高ぶらない、謙虚な気持で赤池町の発展、赤池町住民のための議員活動をしたい。

委員 香月雅之



豊かで健全な心の人づくり、町づくり、豊かな心をはぐむ環境づくり、郷土づくりに皆様方のご期待に添えるよう、誠意と努力をもって専念する覚悟です。

委員 高林篤



町民の皆様に対し信頼とサービスの行き届いた行政と、赤池町町議会議員として恥じる事のない議会造りに努力致したいと思っています

委員 小松篤生



○一般失対の枠の拡大  
○開就65歳の首切り反対  
○特開の1年間延長を継続  
○身障者の職場の充実を図る  
○身障者の施設を建てること

委員 水永康雄



議長あいさつは  
2面にあります

## 産業建設常任委員会

委員長 平元光年



この度無投票で当選させていただきました。これもひとえに皆様方のご尽力の賜と深く感謝を申し上げます。今期はいよいよ三期目という大切な節目を迎えました。常に初心を忘れず努力を続けま。皆様方のご意見とどしお聞かせ下さい。

副委員長 木月睦夫



明るく豊かな町づくりを目指す!!  
①赤池町総合計画の推進  
②町財政の健全化  
③同和教育の推進

委員 小松春義



副議長あいさつ  
は2面にあります

委員 辰巳昇



過去4年間の経験を生かし町民の為の議員としての責務に全力をつくします①田川は恐い暴力のまことのイメージをなくし暴力追放、絶滅し明るいまちづくりに全力を尽します②生活環境の整備、鉱害復旧、企業誘致ならびに福祉、教育に全力をつくします。

委員 安永栄一



「長いものには巻かれろ」という古い体質を破り、町民1人ひとりがはっきりと意見を言える赤池町になるよう、微力ながら努力したい。

委員 早麻豊



①初心忘れずの心情で事を処理したい  
②高齢化社会に向って老人福祉の充実に努力したい

### 紹介します私たちの顔です

### 赤池町議会議員

各常任委員会委員長、副委員長  
その他委員は議席順の順番です  
な紙面の都合で内容を変えない範囲で抱負を割愛しました。ご容赦下さい

# 新任のあいさつ

赤池町議会議長 水永康雄

新緑の風もさわやかな頃、町民の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さる5月9日、選挙後の初議会におきまして不肖私、議員の皆様方の御推挙によりまして議長に就任させていただき、その重責と使命の重大さを痛感するとともに微力ながら最善を尽くして職務の遂行に邁進いたすべく心を新たにしております。

赤池町は積極的な諸施策の推進により町勢の発展はまことに目ざましいものがありますが、まだ数多くの重要問題が山積されております。町の重要課題である財政の立て直しは国の行財政改革による地方財政措置の削減、産炭地域の切捨て等、併せ自主財源に乏しい赤池町の財政再建は非常に厳しいものがあります。

議会といたしましては国に政策の改善を強く働きかけ、企業誘致の促進、鉱害問題等諸問題の解決に全力をあげ取り組んでまいり所存でございます。地域社会は激動する経済社会情勢の中で日々進展し変革している現在、議会も行政もこれに的確に対処しなければなりません。私達議員は住民の声と心を代表し、代弁するだけにとどまらず一歩踏み出して常に住民の中に飛び込み対話を重ね住民の皆様方の悩みと声を汲み取りながら町政に反映させ、住民全体の福祉向上と地域社会の活力のある発展を目指して積極的に努力することが責務であると深く認識いたしております。住民の皆様方のよき公僕として全力をつくしたいと願っております。議会は赤池町の将来を展望し活力ある町づくりのため「第2次赤池町総合計画」に沿い、その実現に向けて執行部と相協調し町民の皆様のお力をお借りしながら住みよい町づくりを誠心誠意取り組んでまいります。

最後に住民の皆様方の遠慮のないご助言とご鞭撻をお願いいたしまして私の就任のあいさつといたします。

赤池町議会副議長 小松 春義

さわやかな初夏の季節、町民の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、私このたびの4月26日に執行された赤池町議会議員の一般選挙後初の議会においてご推挙を受け副議長に就任させていただくことになりました。

こんにち赤池町をとりまく行財政はかつてない厳しいものがあり、その責任の重大さを痛感するものですが、住民の皆様のご支援のもとに誠心誠意努力してまいり所存であります。

ご承知のように基幹産業を擁しない本町の財政状況は、年を追って逼迫の度を増しており、今年にはまさにその正念場を迎えました。議会といたしましても町当局と一体となり農業の振興商業の育成をはじめ工場誘致等を積極的に行い、雇用の安定をはかり活力ある町づくりを進め財政危機からの脱却を計ってまいり所存であります。

今回の議員の選挙は無投票となりましたが、町政の推進に当っては、町民の皆様1人ひとりの意見、要望を十分に聞き町政に反映させ明るい町づくりを進めてまいります。

最後に望み皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

## 議会だより



昭和六十二年第五回五月臨時町議会（初議会）が五月九日開催され、議長、副議長が決まり総務、産建、厚生、の三つの常任委員会の委員など、数多く構成されている各委員も表(2ページ)のように決まりました。

又、五月二十二日には第六回五月臨時議会が開催されました。

議案は三件で内容は次のとおりです。

◎昭和六十二年赤池町老人保健特別会計補正予算(二千四百五十八万九千円を追加補正し、総額七億六千三百五十五万三千円となりました。内容は、六十一年度の歳入財源で支えた基金交付金、国庫負担金および県負担金が、六十一年度中に全額入らず、六十一年度決算において財源不足が生じるため前年度繰上充用金により補てんするものです。

◎赤池町課設置条例の一部を改正する条例の制定(鉱害専属の窓口を設置し、現在進んでいる復旧工事とあわせ、これからの認定申請

手続等の窓口事務の一元化をはかり、鉱害復旧の早期解決ができるよう、六月中旬に予定している人事異動に合わせ、新しく鉱害課を設置するものです。

以上二件が原案どおり可決されました。

◎赤池町議会委員会条例の一部を改正する条例の提出(鉱害課新設により常任委員会の分掌を定めるもので、原案どおり決定されました。

これからもお元気で……  
ありがとうございました  
町立病院  
桑野・詫摩両医師退職

高度な医療技術と親身な診療で私たちに親しまれ、尊敬されていきました。

整形外科医長 桑野 正 医師  
外科医長 詫摩 衆三 医師

の両医師が、二カ年の県衛生部よりの派遣期間が終了し、五月三十一日をもって町立病院を退職しました。

両医師は「赤池町住民の健康は私たちの手で」をモットーに、若さと情熱で地域医療に取り組み、着実にその成果を上げてこられました。本当にありがとうございました。

(3)

桑野先生は、小倉の労災病院に就職され、詫摩先生は、黒崎の九州厚生年金病院で研修されることになりました。お二人の活躍をお祈り致します。

又、後任医師として、同じく、自治医大の医学部卒業生の  
整形外科 田中宏道医師  
外科 日野富夫医師  
そして町並らびに町議会から要請していただきました、医師増員の成果として

内科 武富章医師  
が、診療して下さいます。  
六月一日から、常勤医師として石尾院長と、廣瀬医師に新しく就任されました三名を加え、今までの四名から、五名となり、医療サービスも更に充実することになります。

なお、新任の先生の紹介は来月号で掲載します。



整形外科医長 桑野 正

この度、転勤することになりました。赤池町立病院に勤めたこの2年間、自分なりに少しでも良い



外科医長 詫摩 衆三

赤池町立病院に赴任して早や二年の歳月が過ぎ、この度、黒崎の九州厚生年金病院で臨床研修に励ませていただくことになりました。念願の手術室も稼働し始め、また、町立病院としての形が出来つ

委員 会	議員氏名	委員																							
		議会運営委員	工場誘致促進特別委員	財政再建全体協議会委員	天郷青年の家組合協議会議員	田川地区消防組合協議会議員	田川地区奇場組合協議会議員	田川地区衛生組合協議会議員	田川地区伝染病院組合協議会議員	社会福祉協議会委員	青少年問題協議会委員	公民館運営審議会委員	給食センター運営審議会委員	赤池町福祉会理事	土地開発公社理事	育英資金貸与審議会委員	住宅新築資金等貸付審査委員	消防委員	国保運営協議会委員	監査委員	名誉町民諮問委員	赤池町立病院運営委員	水田農業確立対策協議会委員		
総務常任委員会	山下 次男	○	○	○						○															
	日高 進			○							○														○
	池田 兼善	○		○							○														
	竹沢 和雄		○	○	○							○													
	小松 利道		○	○																					
厚生常任委員会	木月 繁美			○																					
	小松 保	○	○	○																					
	大島 勇夫		○	○																					○
	香月 雅之	○										○													
	高林 篤			○																					
産建常任委員会	小松 篤生		○	○																					
	水永 康雄	○	○	○																					
	平元 光年	○	○	○																					
	木月 陸夫			○	○																				
	小松 春義	○	○	○																					
産建常任委員会	辰己 昇			○	○																				
	安永 栄一	○	○	○																					
	早麻 豊			○																					

※○は委員長 ◎は副委員長



よい歯でよくかみよいからだ

水道週間 — 1日~7日(厚生省)

人権擁護委員の日 — 1日(法務省)

# 人づくり街づくりの中核に

## 体協執行部 基本路線を提唱

**理事会ルポ**

赤池体協（大島勇夫会長）の中核神経にあたる理事会が5月20日夜、町民会館で開催され、これからの町内各種スポーツ大会の日程等が慎重に審議されました。

とくにこの日は、新年度初の会議とあって、今田常務理事から「体協理事の任務、役割」について説明があり、新任の地域理事さんへ明確な道標が示されました。

### 野球、続いてバレー

第一回理事会は、当面する各種スポーツ大会の内容審議から。

まず町内大会は5月31日、6月7日、14日の軟式野球、21日開講の硬式テニス教室、そして28日のバレーボール大会、バドミントン大会と、めじろ押し日程。

一方、郡体関係では、別稿「体協スポーツ、郡体の日程決まる」の日程が確認され、時まさにスポーツシーズンの到来を実感。

### 理事会を研修の場に

新年度の初会議に、今田常務理事



**人の心を豊かさもとめて『父の日』**

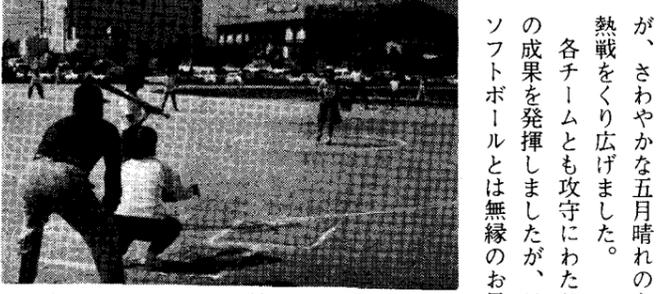
最近、〇〇の日というと、品物のプレゼントで感謝が表わし、腕にかけた手料理の方が。6月21日は父の日、あなたの笑顔もお忘れなく。

なつて、当面する諸問題の解決にこそ奔走すべきで、その精神は、地域の他の役員さんと何ら目的を異にするものではない。一人で動かず、たくさん協力者を得て、トロイカ方式でお世話しよう。

**おわび** 先月号の「社会教育団体始動」の記事中、大島勇夫体協会長の取り扱いに不備な点があり大島会長および関係者に大変迷惑をおかけしました。紙上からお詫びいたします。（編集子）

## 八区『竹の子』がV2

### 2位は七区オリオン 第10回親子ソフト



【写真は2連覇をよるこぶ『竹の子』子ども会(上)と、熱戦!!板屋VS緑ヶ丘】

▲町民体育祭が雨で流れた。一昨年も雨に泣いたので、また流れたといった方がピッタリの感がする▲実はこの体育祭で、教委は今春勇退した小松利道前会長へ感謝状を贈る予定だった。小松さんは57年7月から実に5年余の間、赤池体協を支えてきた人だ。永い間、

ご苦労さまでした。感謝状は20日の理事会で、浦田教育長から贈呈された▲ご苦労さまは、雨にはん弄された地域役員、競技役員さんにも言わねばならぬ。実行委員さんは勿論、3月末から要項づくりの事務局の皆さんにも。そして雨の前日、黙もくとラインを計った教委職員諸兄に、改めて「ご苦労さま」。

達の珍プレー、好プレーが随所に見られ大会を盛り上げました。今年も、子ども自らが運営にあたり、司会進行や連絡、受付、記録の仕事は無事果たし、ひと味ちがった大会となりました。

この日の成績は、攻守にまともな親子のチームワークがとれた八区「竹の子」子ども会が、2年連続優勝を果しました。準優勝は地区の大応援を背に受け、初の優勝杯を手にとろうと頑張った七区オリオン子ども会でした。

### 7日に歯みがき大会

「健康は歯から」を合言葉に、毎年歯の衛生週間に行なわれる「健康づくり歯みがき大会」が、ことしも6月7日(日)午後1時から、同和対策中央研修所で。子ども会の皆さん、まっ白い歯で、ぜひ参加してくださいネ。



またも雨に泣く 5月17日、さわやか体育祭 予定の第26回町民体育祭は、前日夜半からの雨でまたも中止、最近隔年毎の行事になってしまったようです。各地域共、フルパワーで準備に

## しあわせはみんなのねがい

外国での人権思想の歴史は18世紀後半から生まれており、その思想は、その時代、時代の影響を受けて作りあげられました。

日本での人権を尊び大切にすることは、明治時代の自由民権運動や戦前の婦人参政権運動などとともに、水平社の部落差別撤廃運動があります。この運動は大変、大きな役割をはたしてきました。

日本で最初の人権宣言といわれる水平社宣言は、その中で「われわれは、かならず卑屈なる言葉と怯懦なる行為によって、祖先をばづかしめ、人間を冒瀆してはならぬ。そうして人の世の冷たさが、どんなに冷たいか、人間をいたわ

取り組み、総合優勝めざしたものの、なんと憎い雨。雨ニモ負ケズ……は遠い昔の話……?

**郡体の日程きまる** 田川郡のスポーツの祭典、第26回郡民体育大会が、7月5日から日曜日毎日糸田町を主会場に開催されます。

本町は今年も、体協の競技団体や着い会(青年団体)を中心に選手団を結成し、郷土の名譽をかけて今大会に挑戦します。今年の競技日程は、次のとおりです。

7月5日||バスケット、バドミントン。12日||卓球、ソフトボール。19日||陸上競技、バレー、軟式テニス、柔道、剣道、相撲、軟式野球。26日||インディアアカ、水泳、弓道。(高齢者G・Bは5月22日に開催、本町は見事総合優勝。テニス教室開設 こととして3年目を迎えるテニス教室(硬式)を6月21日から開設します。初心者歓迎、ふるってご参加下さい。(註) この稿について、申込み等のご相談は、赤池体協事務局(☎28-4100)へどうぞ。

## 同和問題啓発「標語」「ポスター」「作文」の募集

7月は、同和問題啓発強調月間です。赤池町ではこの期間中、同和問題について皆さんで考え、皆さんで話し合い、同和問題を正しく理解するとともに、私たち一人ひとりの問題であることの認識をより深めていただきたいと願っています。差別をなくして、明るい社会をつくるため、赤池町同和教育推進協議会(同推協)では、同強調月間の多彩な催しの一環で、「標語」、「ポ

**パワーアップ 『伝統』と『因襲』**

III あかいけ

『伝統』の正しい姿は、それが固有の特質を保ちながら常に発展的流動性、即ち現代性を失わないときに見ることができます。ですから、伝統は、昔ながらの風習をうけつぐだけで改善が行われない因襲とは、自づと区別されます。

【写真は、早朝、赤池駅横の駐輪場を清掃する河野善和さんと藤久イセ子さん(車道1)】



スター」、「作文」を広く町民の皆さんから募集いたします。具体的な応募要領は次のとおりです。

○内容 差別をしない、させない、人権を尊び、明るい平和な社会の建設を推し進める内容の作品を期待します。

○応募方法

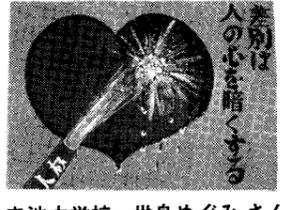
- 6月20日締切り
- 作品には住所・氏名・年齢・性別を必ず書いて下さい。

又、応募された作品は、広く啓蒙啓発の資料として紹介します。●応募者全員に参加賞を贈り、「広報あかいけ」掲載分には記念品を贈ります。

●提出先

赤池町大字赤池九七〇番地  
赤池町教育委員会宛  
電話 二八一四一〇〇

咲かそう和の花 つみとれ 差別 赤池中学校 前川司さん



差別は人の心を暗くする

昭和61年度 入選作品

●応募作品は、赤池町同和教育推進協議会において選考し、「広報あかいけ」に掲載します。

**今月の解放講座**

とき 6月24日(水曜日) 午後7時30分から

ところ 同和対策中央研修所

自己を見つめ、暮しを高める解放講座へ、みなさんさそいあって参加しましょう。